

令和3年度 作物栽培管理情報第4号

令和3年7月発行

大分県中部振興局 集落営農・水田畑地化班

1. 令和3年産水稻 6. 夏～秋の病害虫防除

1) トビイロウンカ防除

※水稻10株に成虫または幼虫が2頭以上いる場合は、防除を行ってください。



本年も多発が懸念されています、防除を徹底しましょう！

(1) ウンカ類殺虫剤一覧 ※使用上の注意を確認し、適期に適切に散布！

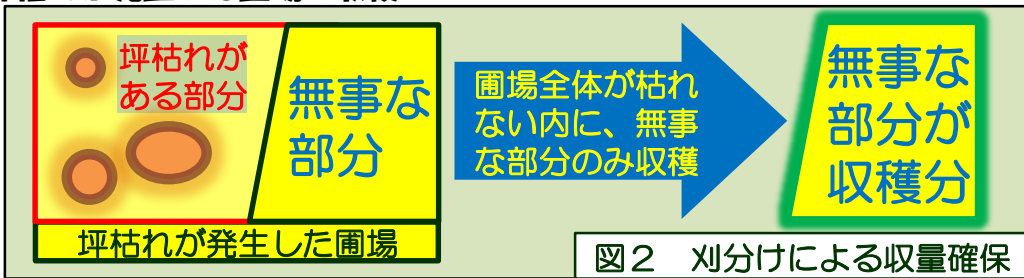
剤型	薬剤名	散布時の注意		収穫前制限	使用回数
		使用量/10a・希釈倍率	散布量/10a		
水和剤	トレボン水和剤	2000倍	60~150L	収穫21日前まで	3回以内
粒剤	トレボン粒剤	2~3kg	—	—	—
乳剤	スタートレボンW10	1000倍	60~150L	収穫14日前まで	3回以内
乳剤	トレボン乳剤	1000~2000倍			
水和剤	トレボンスターフロアブル	1000倍	—	収穫7日前まで	3回以内
粒剤	スタークル・アルバリン粒剤	3kg			
	スタークル・スタークルメイト豆つぶ	250~500g			
	スタークル1キロH粒剤	1kg			
粉剤	ダントツ粒剤	3kg			
	スタークルトレボン(トレボンスター)粉剤DL	3(3~4)kg			
水溶剤	トレボン粉剤DL	3~4kg	60~150L	—	—
	スタークル・アルバリン顆粒水溶剤	3000倍			
液剤	ダントツ水溶剤	4000倍	60~150L	—	—
	スタークル液剤10	1000倍			
粒剤	キラップ粒剤	3kg	—	収穫14日前まで	2回以内
粉剤	キラップ粉剤DL	3~4kg			
水和剤	キラップフロアブル	1000~2000倍	60~200L	—	—

適切かつ効果的な防除のために

- ①警報発出前でも、水稻10株に成虫または幼虫が2頭以上見つかったらすぐ防除！
- ②発生が多い圃場は、坪枯れが発生する前に薬剤を散布！
- ③手持ちの散布機の点検・修理を忘れずに
- ④無人ヘリ・ドローンで防除する場合は、前もって湛水しておきましょう。

裏面へ

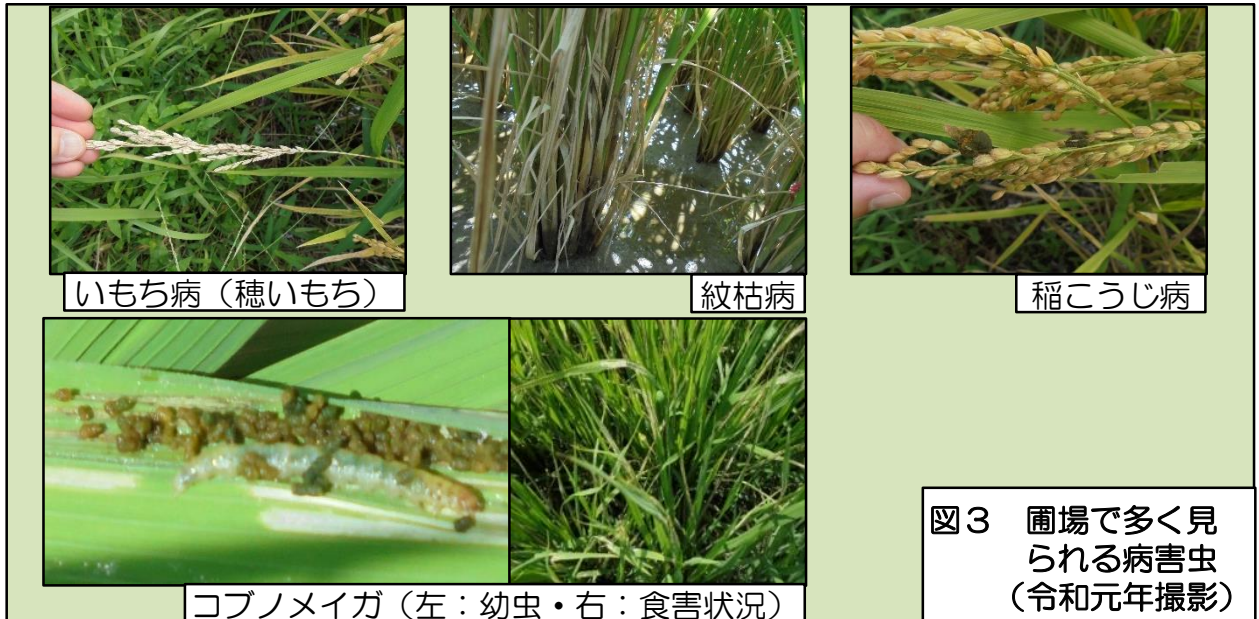
(2) 坪枯れが発生した圃場の収穫



ポイント

- ・ウンカ類の防除は
 - ①粒剤は3～5cm湛水またはひたひた水（田面全体に水がある状態）
 - ②液剤・水和剤・粉剤は株元まで薬剤がかかるようひたひた水で散布を行いましょ。
- ・同時に基幹防除を行う場合は、ウンカ類を適期に防除することを優先させてください。また熟期の遅い水稲では、ウンカ類の発生程度に応じ追加防除を行ってください。
- ・収穫期が近い坪枯れした圃場は、無事な部分のみ速やかに収穫しましょ。

2) その他の病害虫防除 ※毎年発生する圃場は本年も注意が必要です！



ポイント 葉色が濃い、生育が軟弱徒長気味の圃場は特に注意してください。

3) (再掲) 水管理・本田防除・穂肥施用（分施のみ）の確実な実施

- ①天候に応じた適切な水管理を行うとともに、出穂期前後に水の供給が切れないよう用水路、水口の点検・整備を行いましょ。
- ②病害虫の発生時期・発生量に注意し、適期に適切な本田防除を行いましょ。
- ③分施肥栽培の圃場では基肥の効果が切れ始める時期です。水稲の生育に注意し、適期に適切な量の穂肥を追肥しましょ。

2. 農作業安全対策

1) 大雨・強風時の注意点 ～事前に対策し、過ぎ去るまでは本人の安全最優先～

- ①気象情報に注意し、注意報・警報が出たら深めに湛水すること
- ②大雨・強風時は自宅で待機（対策を済ませたら見回りも不要）
- ③河川や水路、畦畔等の増水危険か所には絶対に行かないこと！
- ④天候が回復した後の、排水及び病害虫防除の徹底

ポイント 強い台風の発生しやすい時期です。油断せず、早めの対策で無事収穫期を迎えましょ。

お問い合わせ先：電話097-506-5791

ホームページ：<http://www.pref.oita.jp/soshiki/11604/saibaikanrizyouhou.html>